



稲葉 景久 議員

消防団組織の充実を

地域参加や組織・勧誘方法を検討



消防団詰署

Q

地域防災の要である消防団員の確保が、危機的状況の分団が2分団もある。以下5点伺う。

- ①現在の消防団の陣容は。
- ②団員の募集状況は。
- ③町職員の入団状況は。
- ④団員の待遇はどうか。
- ⑤団員充実のために町として考えている事は。

A

①定員105名に対し実団員数は84名、充足率は80%。②年明けから各分団の幹部を中心に、各地区で入団の勧誘活動を実施している。③現在1名。④条例で定められた、年額報酬や出勤報償費と、退職時には退職報奨金を支給。⑤消防団の認識が高まるよう、自主防災会の訓練に消防団の参加を依頼。機能別消防団等の新しい組織体制や、勧誘方法は、今後検討していく。

定額給付金の今後の進め方は

正確で迅速な給付に努めたい

Q

100年に1度の金融災害といわれる中、待ちに待った生活支援定額給付金の進め方を伺う。

- ①給付予算額の根拠は。
 - ②事前準備から給付終了までのスケジュールは。
 - ③手続きなど給付方法は。
 - ④町職員の配置や窓口など、体制は。
 - ⑤想定されるトラブルなど町としての考えは。
- なお、給付開始5月の理由は。また、プレミアム付商品券の検討はされたか。

A

①2万5100人に1万2千円、18歳以下及び65歳以上の9900人に8千円を加算し、総額は3億8040万円。②3月中に申請書を発送し、4月中に第1回目の振込みを行ない、5月末までにはめどをつきたい。③原則は振込み。④総務課で対応する。⑤国や県の示すQ&Aにより対応する。プレミアム商品券については、商工会と検討したが、採用しない。



待ちどおしい定額給付金